

平成27年度

鎌倉市高齢者生活支援サポートセンター

活動報告

特定非営利活動法人  
かまくら地域介護支援機構

## 1. はじめに

鎌倉市高齢者生活支援サポートセンター（以下サポートセンターという）は、平成19年度から鎌倉市との協働事業としての「高齢者生活支援サービスの調整機関の検討委員会」の検討、その後高齢者生活支援を担うサポーター養成講座、開設準備のための試行等を経て、平成25年5月より鎌倉市の委託事業として「鎌倉市高齢者生活支援サポート事業」を受託し、平成25年7月1日に台在宅福祉サービスセンター内に開設された。高齢者が地域の中で安心して暮らしていけることを目的にしてサポート活動を続け、平成28年度7月に4年目を迎える。この報告書は平成27年4月1日から28年3月31日までのサポートセンターの活動を報告するものである。

## 2. 平成27年度の活動について

平成27年度登録利用者数は69名（前年度は63名）であった。平成28年3月末の利用者数は48名で、途中で施設入所や転居、入院などにより、人数に変動がある。また、登録サポーターは117名（前年度85名）でサポート活動を行っている。

毎月のサポーター会議と、鎌倉市との合同会議で利用者状況の把握・改善点の検討を行って共有し、利用者が安心して自宅で毎日が過ごせるよう、そしてサポーターが活動しやすいように話し合いを重ねている。

また、登録サポーターのスキルアップを目的とした研修会を2回開催、毎回多数のサポーターが参加し資質の向上に努めている。

年2回、情報紙「おげんきですか通信」を、サポーターからも編集員として参加を得て、発行している。サポート活動の報告や利用者の声、スキルアップ講座の感想などを掲載し、サポートセンターの状況を市民に向けて発信している。

### 3. 利用者数や受付状況、活動事例

#### 1) 利用者一覧表

27年4月1日～28年3月31日

地域	利用人数	性別		年代				家族形態			介護認定			
		男性	女性	60代	70代	80代	90代	独居	配偶者同居	配偶者以外同居	認定なし	支援1	支援2	介護1
鎌倉	6	0	6	0	2	4	0	5	1	0	3	0	2	1
腰越	30	5	25	1	6	20	3	16	8	6	12	4	6	8
深沢	6	2	4	0	2	4	0	4	1	1	4	2	0	0
大船	17	5	12	0	6	9	2	8	6	3	3	5	5	4
玉縄	10	2	8	0	3	6	1	4	3	3	2	1	5	2
合計	69	14	55	1	19	43	6	37	19	13	24	12	18	15

利用者の特徴として家族形態により大きな違いがみられる。

1人暮らしの人は、特に「家事が大変」「話し相手が居ない」などの困りごとがあり、同居の場合家庭内の事は女性の負担が大きく「ちょっとした手伝いがほしい」という世帯が多い。

以前、困ったときの相談相手は、「同居の家族や親族」「友人や近隣の人」であったが、近隣の人も高齢になり、配偶者にもだんだん頼れなくなり、民生委員や事業者に相談がある。

配偶者と同居している世帯は、どちらかが「介護」が必要になった時、「老々介護」が問題になる。そこで介護している家族への支援も必要になっている。頼るべき家族が居ない場合、別居の家族への負担も大きな問題になっている。

介護保険では対応できない家事支援や困ったことへの対応が気楽にできるサポートセンターとして、きめ細やかな高齢者支援を目指し、多様な機関と連携しながら、超高齢者社会を支えていきたい。

## 2) 受付状況

27年4月1日～28年3月31日

	新規電話受付		コーディネーター 訪問		サポーター 同行訪問		最終 成立	モニタリング訪問件数		
	受付 件数	成立	訪問 件数	成立	同行 件数	成立		担当者会議 様子伺い等	サポーター 同行訪問	計
		不成立		不成立		不成立				
4	11	7	7	5	5	5	5	2	3	5
		4		2		0				
5	5	3	3	2	2	2	2	5	0	5
		2		1		0				
6	7	5	5	4	4	4	4	4	1	5
		2		1		0				
7	9	4	4	2	2	2	2	0	1	1
		5		2		0				
8	7	3	3	2	2	2	2	0	0	0
		4		1		0				
9	7	2	2	1	1	1	1	0	3	3
		5		1		0				
10	3	2	2	2	2	2	2	6	0	6
		1		0		0				
11	4	2	2	2	2	2	2	10	3	13
		2		0		0				
12	8	0	0	0	0	0	0	3	1	4
		8		0		0				
1	2	1	1	1	1	1	1	4	0	4
		1		0		0				
2	10	4	4	4	4	4	4	9	2	11
		6		0		0				
3	5	2	2	2	2	2	2	6	3	9
		3		0		0				
計	78	35	35	27	27	27	27	49	17	66
		43		8		0				

鎌倉市内の地域包括支援センターやケアマネジャー、地区社協ボランティアセンター、鎌倉市民生委員児童委員協議会など、在宅高齢者にかかわるさまざまな立場の方たちに、鎌倉市高齢者生活支援サポートセンターの仕組みへの理解が広がってきたことを感じている。

訪問時、利用者の生活歴や生活状況を踏まえて、今本人や家族がどのような気持ちでいるのかを汲み取り、関わりのある方たちと連携を取りながら、孤立や不安、閉じこもりを減らし、できる限り自立して心豊かに暮らせるように、「生活支援」を行っている。また、利用者やサポーターの信頼関係を築くために、常に誠意をもって対応することを大切にして活動するよう話し合っている。

3) 活動の内容 (年間の活動の中での代表的な事例)

支援内容	性別	年代	依頼内容	活動事例
趣味や生きがいの支援	女性	80代	山を背にした広い庭の手入れを一緒にしてほしい。	季節ごとに色々な種類の植物の手入れを、手分けをしてやっている。時間を忘れるぐらい、楽しみな様子。
	女性	80代	若い頃から土いじりが好きだが、腰が痛くてしゃがめない。一緒に手伝ってもらいたい。	畑を耕したり、肥料やりはサポーター、種芋を植えたり、移植などはご本人と一緒に楽しく過ごしている。
外出支援	女性	80代	以前転倒してからふらつきがあり、通院に同行してほしい。	月に2回ほどの通院のほかに、買い物や散歩に同行している。昔の話、旅行の話など会話も楽しんでいる。
	男性	80代	独り暮らしだが、買い物や散歩をしたい	誰かと一緒なら外出できるとのことで、お茶を飲みながら話をすることを楽しみにしている。
	女性	80代	配達なども利用しているが、自分の好きな物の買い物をしたい。	歩行に不安があるが、ゆっくりと歩いて近所で買い物をしている。お話しもはずみ、楽しみにされている。
家事支援	女性	70代	膝が悪いので、一人でやりにくい片づけや掃除を一緒にしてほしい	綺麗好きの方で、一緒に掃除をしている。仕事の前後の話が弾んで、サポーターとの会話を楽しんでいる。
	男性	60代	施設に入所した母親の部屋の整理をしたい。庭の手入れを一緒にしてほしい。	独り暮らしで不安感が強くなり、身体に影響している。サポーターと共に家事をすることで気持ちが明るくなってきた様子。
	女性	80代	調理や掃除、ゴミ出しなど手伝って欲しい。	出来るだけ自分でやりたいという気持ちを大切にして、一緒に家事をしている。合間の話も楽しみ。
話し相手	女性	80代	夫の介護をしているが、話し相手がほしい。	普段の何気ない話をするすることで、笑い声が出て気分転換になるとのこと
	男性	80代	男性といろいろ話したい。	サポーターが話し相手をしている間に奥様が外出する。時にはサポーターが外出同行することもある。

4. サポーターの活動状況

27年4月1日～28年3月31日

月 項目	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
件数	41	43	47	43	36	39	41	52	42	37	40	51	512
回数	120	123	130	100	104	95	106	123	105	84	116	124	1330
時間数	197	207	218	183	168	148	178	208	180	139	198	207	2231

## 5. 高齢者生活支援サポーター養成講座

鎌倉市に暮らしている高齢者が、安心して在宅生活を過ごすうえで必要な家事支援等の軽度なサービスを提供するために、必要な知識と技術を身に付けた「高齢者生活支援サポーター」として地域で活動に参加する人材の養成を目的として開催した。サポーターを全市的に迎えたいので、講座の開催場所を4地区で行った。第4回目の講座では、地域包括支援センター聖テレジアのケアマネジャー他の見学者を迎えて、受講者とともに講習を受けた。

	月 日	開催場所	受講者数		登録者数	
			男性	女性	男性	女性
1	5月19日(火) 5月26日(火)	鎌倉生涯学習センター	5	11	4	6
2	8月19日(水) 8月26日(水)	大船学習センター	3	4	2	3
3	10月21日(水) 10月28日(水)	深沢学習センター	2	4	2	4
4	3月15日(火) 3月17日(木)	腰越学習センター	2	15	1	7
	合 計		12	34	9	20

## 6. コーディネーター養成講座

生活支援サポートを希望する高齢者に、登録しているサポーターを紹介し、そのサポート内容を調整するコーディネーターは、サポートセンターの活動を進める上で、重要な役割を担っている。コーディネーターは、鎌倉市地域包括支援センターや民生委員と連携して、依頼者である高齢者の生活状況を把握し、その方にとってより良いサポートを提供することに努めている。また鎌倉市の高齢者の状況や介護保険制度、対人援助についてなどを理解することも重要である。今年度は日程調整ができず来年度に開催する予定だが、サポート活動の増加が見込まれている現在、コーディネーターの養成は急務であり、サポーター養成講座とともに重要と考えている。

## 7. そのほかの活動

### 1) 研修会の開催

#### ① 第1回サポータースキルアップ講座 「生活支援サポーターの対人援助技術」

日 時：27年9月4日(金) 13:30～15:30 台在宅福祉サービスセンター

講 師：稲富正治氏 (川崎幸クリニック 臨床心理士)

参加者：サポーター36名、スタッフ8名

#### ② 第2回サポータースキルアップ講座 「ボランティアの原点」

日 時：28年3月4日(金) 13:30～15:30 台在宅福祉サービスセンター

講 師：樽井彰子理事長 (かまくら地域介護支援機構) 渡辺久美子副理事長 (同)

石井敦子コーディネーター（鎌倉市高齢者生活支援サポートセンター）

参加者：サポーター26名、スタッフ7名

2) 会議

① サポーター会議

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
開催日	4/3	5/1	6/5	7/3	8/7	9/4	10/2	11/6	12/4	1/8	2/5	3/4	12回
参加人数	27	21	34	19	21	44	23	26	30	33	27	33	338名

② 鎌倉市との合同会議

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
開催日	4/3	5/1	6/19	7/17	8/21	9/18	10/16		12/18	1/15	2/22	3/18	11回
参加人数	7	7	6	9	7	10	9		9	9	8	9	90名

③ 事務局会議

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
開催日	4/24		6/5	7/3	8/7	9/4	10/2	11/6	12/4	1/8	2/5	3/4	11回
参加人数	6		6	6	7	8	8	7	6	6	7	7	74名

3) 行事

① 新年会 28年1月8日(金) 在宅福祉サービスセンター

参加者：サポーター26名 かまくら地域介護支援機構 理事2名 事務局5名

4) 広報活動

① 情報誌「おげんきですか通信」第3号及び第4号発行

② パンフレット「おげんきですか」増刷作成

③ 鎌倉市民生委員・児童委員協議会、各地ケアサロン等へ説明

7. 今後に向けて

鎌倉市高齢者生活支援サポートセンターの主な業務は、市民や生活支援サポーターからの相談や関係機関との調整である。しかしながら既定の開所時間を超えて行われる場合も多く、複雑化するマネジメント業務については今後の課題でもある。地域包括ケアを推進する中で、市民が市民を支える仕組みとして、サポートセンターの活動を多くの市民に理解していただくために、より一層の広報活動を続けていく必要があると考えている。

また、鎌倉市に暮らす高齢者が、日常生活を安心して過ごせるとともに、自分らしい生活を在宅で継続できるように、高齢者生活支援サポーターがその生活を見守り、介護予防や認知症の早期発見の観点からもその活動を支援していくことが重要である。そこで平成28年度ではサポーター会議を地域で開催し、担当エリアの地域包括支援センターの職員を招いて、サポートセンターの活動について理解を深めていただき、更なる連携の協力をお願いすることとした。